

## 平成 28 年度地域防災教育研究センター活動概要

### 1. 防災セミナーの開催

本センターでは3か月おきに学内外から講師を招いて防災セミナーを実施している。セミナーは学内外に公開している。平成28年度においては、第12回から第15回まで4回のセミナーが開催された（開催予定を含む）。

#### (1) 第12回セミナー

開催日 平成28年8月3日（水）

演題・講師 放射線災害部門における医学部保健学科のこれまでの取り組み 松成裕子  
原子力防災に関する薩摩川内市の取り組み 遠矢一星

#### (2) 第13回防災セミナー

開催日 平成28年10月20日（木）

演題・講師 歴史的文化財の保全のためのマッピング化の試み—文化財地理情報データベースの利用— 深瀬浩三  
津波の数値シミュレーション 柿沼太郎

#### (3) 第14回防災セミナー

開催日 平成28年12月22日（木）

演題・講師 川内川流域における地域防災力向上のための研究 安達貴浩  
平成18年7月豪雨時の降雨の時空間分布が川内川の水位上昇速度に与えた影響について 齋田倫範

#### (4) 第15回防災セミナー

開催日 平成29年3月21日（火）

演題・講師 火山噴火研究のための三次元気象レーダデータ解析ツール(ANT3D)について 眞木雅之  
火山災害と健康支援—地域の文化に即して 丸谷美紀

### 2. シンポジウム等の開催

平成28年度に本センターが開催したシンポジウム等は以下の通りである。

#### (1) 口永良部島2015噴火災害対応報告会

主催 地域防災教育研究センター

開催日 平成28年6月4日（土）

会場 鹿児島大学稲盛会館（鹿児島市）

#### (2) 平成28年度防災・日本再生シンポジウム「島嶼の自然災害と防災」

主催 地域防災教育研究センター

開催日 平成 28 年 11 月 26 日 (土)

会場 鹿児島大学工学部建築学科 01 教室

(3) 大規模火山噴火による被害想定に関するキックオフミーティング

主催 地域防災教育研究センター

開催日 平成 28 年 12 月 13 日 (火)

会場 産学官連携推進センター

(4) 災害医療：一次避難所設営机上演習

主催 鹿児島大学医学部

共催 地域防災教育研究センター

開催日 平成 29 年 3 月 18 日 (土)

会場 鹿児島大学医学部第一講義室

### 3. 学内における防災教育および防災に関する研修会等の実施

共通教育において防災に関する科目を提供するとともに、防災士養成等に取り組んでいる。また、学内の教職員等を対象にした防災講演会を開催した。

(1) 共通教育の提供

共通教育科目 5 科目の実施

いのちと地域を守る防災学Ⅰ (前期毎週)

いのちと地域を守る防災学Ⅱ (後期毎週)

地域防災学実践Ⅰ (前期集中)

地域防災学実践Ⅱ (後期集中)

防災フィールドワーク (前期集中)

(2) 防災士養成の取り組み

防災士資格取得試験対策講座の実施

日本防災士機構による防災士資格取得試験の実施 (年 1 回)

(3) 防災講演会「平成 28 年熊本地震における熊本大学の被害・対応と教訓」の開催

主催 鹿児島大学、鹿児島大学地域防災教育研究センター

開催日 平成 29 年 2 月 27 日 (月)

会場 鹿児島大学連合農学研究科会議室

### 4. 地域との連携による事業の実施

(1) 文部科学省実践的防災教育総合支援事業の支援

県教育委員会「防災教育モデル実践事業」(文部科学省「実践的防災教育総合支援事業」委託)において、県・市町教育委員会からの要請を受けてモデル校へ防災教育アドバイザーの派遣および防災実践指導を行っている。平成 28 年度は指宿市と大崎町で実施した。

## (2) 専門部会の発足

「大規模火山噴火にレジリエントな地域社会の実現に向けた防災・減災の取組専門部会」が発足した（平成 29 年 3 月に第 1 回部会を開催予定）。

## 5. 調査研究の実施

### (1) 火山観測用 Ku バンド高速スキャンレーダ完成

桜島、阿蘇、諏訪瀬島などの南九州の活火山を対象とした研究用レーダが完成した。2017 年 2 月下旬に桜島に設置、調整を経て 2017 年 4 月から試験観測を開始する。同時に、ファイルサーバ、データ解析プログラム、情報公開用モニターなどを整備した。

### (2) 総合防災データベースの改良

これまで実施してきた文部科学省地域防災対策支援研究プロジェクト事業「南九州における地域防災支援データベースの構築」(平成 25 年度から平成 27 年度)を継承するもので、資料の収集と登録作業、外部公開のためにデータベースの改良を行った。これまで学内に限られていた資料のダウンロードが外部の防災関係者も可能(ただし ID とパスワードで管理)になる。なお、データベースは、ゲリラ豪雨データベース、土砂災害データベース、桜島大正噴火デジタルアーカイブスおよび鹿児島県市町村ハザードマップ から構成されている。

### (3) 外部機関との共同研究

気象庁気象研究所「気象レーダを活用した火山噴煙に関する研究」(平成 26 年 4 月から平成 29 年 3 月)、および一般財団法人日本気象協会 「マルチパラメータレーダの観測精度向上及び観測データを用いた短時間気象予報に関する研究」(平成 27 年 4 月から平成 28 年 3 月)を継続して実施した。

## 6. その他

### (1) 地震・津波災害分野勉強会

#### ① 第 2 回(本年度第 1 回)

開催日 平成 28 年 6 月 1 日(水)

演題・講師

平成 28 年熊本地震の地表地震断層(速報)と鹿児島県の活断層評価 井村隆介  
津波の数値シミュレーションの紹介 柿沼太郎

### (2) 熊本地震に関する学内情報交換会

#### ① 第 1 回

開催日 平成 28 年 5 月 28 日(土)

話題および提供者

地震の概要および地震観測 宮町宏樹  
GPS 観測 中尾茂

活断層 井村隆介  
農地・地盤災害 平瑞樹  
歴史資料保存 佐藤宏之

② 第2回

開催日 平成28年10月18日(火)

話題および提供者:

土砂災害 地頭蘭隆  
建築被害 澤田樹一郎  
避難 岩船昌起

(3) 企業等からの相談等

自然災害に対する事業継続計画(BCP計画)策定をはじめとした企業等の防災活動についての相談やセンター訪問等に応じた。

① 国分高等学校の生徒が訪問

平成28年7月25日(月)、国分高等学校理数科2年生6名がセンターを訪問した。眞木雅之センター特任教授が科学研究の進め方や実験技術についての指導を行い、浅野敏之センター長の案内で海洋波動実験棟の津波発生実験装置を見学した。なお、今回の受入は、科学技術振興機構の支援事業「中高生の科学研究実践活動推進プログラム」に採択された国分高等学校の「主体的な科学研究実践活動を推進」として実施されたものである。

② 鹿児島県工業倶楽部川薩地区プラザで講演

平成28年6月27日(月)、鹿児島県工業倶楽部川薩地区プラザからの要請で講師を派遣した。演題と講師は以下の通り。

演題: 地震・噴火・風水害～万々に備える企業の防災対策

講師: 下川悦郎センター特任教授

③ 一般財団法人地域活性化センター「全国地域リーダー養成塾」11名が訪問

平成28年11月4日(金)、一般財団法人地域活性化センター 代表者(理事長 椎川 忍)「全国地域リーダー養成塾」11名がセンターを訪問した。眞木雅之特任教授が、地域防災教育研究センターの事業概要とこれまでの取り組みについて説明した。災害時対応・火山対策・その他防災について意見交換を行った。